

「国際経済協力の効率化のための官民パートナーシップの検討調査」

目次

まえがき

第一章 国際経済協力の実施にあたって 我が国の「国益」の考え方	1
(1) 国益の柱と概念の変遷	
(2) モーゲンソーの定義	
(3) 国益概念と国際秩序の安定条件との関係づけ	
(4) ネクタラインの定義	
(5) 我が国の「国益」とは	
(6) 将来像(ビジョン)、国家戦略、国家意志の確立	
第二章 我が国の将来ビジョンと国家戦略	7
1. 将来像(ビジョン)、国家戦略の必要性	7
2. 包括的な自由貿易協定 「東アジア FTA」の実現に向けて	7
(1) FTA 締結の世界的広がり	
(2) FTA の対象範囲	
(3) FTA の特徴	
3. 通貨金融面での東アジア地域間協力	11
4. その他	12
(1) 農業分野について	
(2) 中国について	
(3) 世界全体の経済システムの安定化に資する東アジア地域間協力	
第三章 今後の国際経済協力を求められる視点	14
1. 国益を重視した国際経済協力の実施	14
2. 東アジアとの有機的関係の構築	15
(1) 東アジアとの深い係わり	
(2) 東アジア域内の自由貿易の高まり	
(3) 総合経済戦略の一環としての国際経済協力	
第四章 国際経済協力の効率的な実施のための官民パートナーシップ	19
1. 国際経済協力における官民の役割分担	19
(1) 日本と途上国間のパートナーシップ	

(2) 途上国における官民パートナーシップの状況	
(3) 日本側の官民パートナーシップ	
(4) 他ドナーにおける官民パートナーシップの状況	
(5) 官民パートナーシップの新たな課題	
2. 国際経済協力の評価(効率性)の視点	27
(1) DAC における評価基準	
(2) 国際経済協力の効率性評価の留意点	
3. 官民パートナーシップのあり方の検討にあたっての視点	31
第五章 有効な国際経済協力の実施に向けての課題	33
1. 「東アジアコミュニティ」の構築	33
2. 「国際経済協力の効率的な実施」	33
終章 補論 「東アジアコミュニティ」の構築に向けて:国益の観点から	
原 洋之介	